

# 議会だより

つなぎ

12 december

## 9月第3回定例会 平成29年度補正予算などを審議

- ☆平成29年度一般会計4,110万円の追加 P 2・3
- ☆平成28年度歳入歳出決算を審議 P 4・5
- ☆新議長に川野氏・副議長に柳迫氏を選出 P 6
- ☆一般質問 5人の議員が登壇 P 7～10
- ☆教育住民常任委員会行政視察 P 11

つなぎ 議会だより 2017.12

発行：熊本県津奈木町議会  
編集：議会広報委員会

〒869-5692 熊本県津奈木町小津奈木2-1-23  
☎0966-78-5351 印刷：旭印刷株式会社



**歳時記** ショット

平国天子宮祭  
赤ちゃんの土俵入り

11月8日、平国天子宮の秋祭りが開催されました。

今年も町内外の赤ちゃん6人がねじり鉢巻に化粧まわしを身に付けて、地元力士に抱かれて、泣きながらの土俵入りでした。

## 議会のうごき

- 【9月】**
- 5日・13日 議会運営委員会
  - 8日～27日 第3回議会定例会
- 【10月】**
- 4日 熊本県町村議会議員研修会
  - 6日 広域行政事務組合議会定例会
  - 19日 教育住民常任委員会  
総務振興常任委員会
  - 30日～11/1日 教育住民常任委員会行政視察
  - 31日 西回り要望活動（福岡）
- 【11月】**
- 8日・9日 西回り後期要望活動（東京）
  - 13日～15日 総務振興常任委員会行政視察
  - 15日 防災・危機管理トップセミナー
  - 17日 熊本県町村議会広報研修会
  - 20日 地方自治法70周年記念式典
  - 22日 第61回町村議会議長全国大会
  - 30日 総務振興常任委員会
- 【12月予定】**
- 6日 議会運営委員会
  - 13日～15日 第4回議会定例会

### 議会の構成

議長	川野雄一
副議長	柳迫好則
議会運営委員会	
委員長	林 賢二
副委員長	寺本 信
委員	久村 昌
委員	久井 昌
委員	澤井 静
委員	上村 勝
委員	井村 静
委員	村井 代
委員	井村 法
総務振興常任委員会	
委員長	久村 昌
副委員長	上村 勝
委員	村井 静
委員	川野 義
委員	柳迫 雄
委員	柳迫 好
教育住民常任委員会	
委員長	寺本 信
副委員長	澤井 静
委員	林 賢
委員	橋口 知
委員	橋口 恵
委員	橋口 子

**編集後記**

7月25日山田町政がスタートし、9月定例議会は新体制での初議会であった。早速公約の一つであった出生祝金10万円が創設され、平成29年4月出生児からの適用となる。また、奨学金貸付の利便性を図るため、準備金の貸付時期を早めることと、連帯保証人の居住地域を緩和する条例改正が行われ、多くの方の利用を期待したいと思う。これ、子育て支援策が大きく充実することになった。S・S

――表紙の写真――

10月7日から期間限定で展示されていた現代アーティスト西野達氏による「ホテル裸島」、12月5日で終了します。

**議会広報委員**

委員長	澤井 静代
副委員長	柳迫 好則
委員	久村 昌司
委員	上村 勝法



# 平成29年 第3回定例会 補正予算、条例制定、人事案件などを審議 陳情2件を採択し、意見書を提出

平成29年第3回定例会が、9月8日から27日までの20日間開催され、本定例会では平成29年度補正予算、人事案件、平成28年度歳入歳出決算の認定などが上程されました。また、意見書の提出に関する陳情2件を採択し、議員発議により「協同労働の協同組合法（仮称）の速やかな制定」および「全国森林環境税の創設」を求める意見書を関係機関に提出しました。

議会閉会前に、林議長から”議長の辞職願”が提出され、会議に諮り辞職が許可されました。議長の辞職に伴う、正・副議長選挙および水俣芦北広域行政組合議会議員の補欠選挙など7議題が日程に追加されました。

## 質疑応答

### 一般会計補正予算(第2号)

**問** ウッドスタート誕  
生祝品の玩具が、  
まだ届いていないと聞い  
ているがどうなっている  
のか。また、今後どうな  
るのか。

**答** 制作は「つなぎ年  
輪会」に依頼して  
制作しているが、「東京お  
もちゃ美術館」が行う最  
終の検品に合格しなかつ  
たため、平成28年度は未  
配布となっている。その  
ため、今回は50個を本町  
の予算と同額で「東京お  
もちゃ美術館」に制作依  
頼予定である。  
今後は、新たな機械を  
購入予定と聞いているので、  
確実に検品がクリアでき  
るような設計と制作をお  
願いしたいと考えている。

**問** 川野雄一議員  
物産館グリーンゲ  
イトの使用料およ  
び賃借料で226万4千  
円、工事請負費に  
126万5千円計上され  
ている理由は。

**答** 当初計画では、7  
月までに基本実施  
設計を完了し、8月入  
札、9月から12月までの  
期間に工事を終了し営業  
の予定だったが、実施設  
計などの協議が長くな  
り、工事期間が3ヶ月間  
延びたため、仮設店舗用  
のプレハブリース料と設  
置工事費を計上したため  
である。

業を減額し、プロジェク  
ト事業を増額した。  
この事業は、地方創生  
推進交付金を活用してい  
るため、交付金の有効活  
用を図る目的である。

**問** 村上義廣議員  
広域農道の福浜ト  
ンネル照明器具球  
かえは、全部取りかえる  
のか、また、LEDなど  
の球替えになるのか。

**答** 照明自体は、全部  
で51個ある。その  
うち、現在点灯していな  
い20個をかえる。LED  
はなくナトリウム灯にか  
えることで計上している。

**問** 久村昌司議員  
小さくて強い産業  
プロジェクト負担  
金150万円増額の内  
容は。

**問** 上村勝法議員  
消防費で芦北消防  
署建て直しの負担  
金(補助)とあるが、工  
事費と負担率ほどのくら  
いなのか。  
また、完成はいつ頃の  
予定なのか。

**答** 現在、芦北消防署  
は40年経過してお  
り、事務所も狭く車両の  
大型化、耐震基準も満た  
しておらず、1市2町で  
新築することにした。工  
事費は、設計も含めて約  
6億円で、町の負担率は、  
12.7%である。  
なお、完成は平成30年  
度から平成31年度を予定  
している。

**問** 川野雄一議員  
災害復旧事業費  
に、農林水産施設  
災害復旧と公共土木災害  
復旧が計上されている  
が、国庫補助対象になら  
なかったのか。

**答** 6月の集中豪雨で  
被災した5件を計  
上してある。千代塚のり  
面工事については、金額  
が該当しなかった。  
その他4件は金額は該  
当したが、国の補助金に  
上げるまでの経費を考慮  
し、単独での実施とした。



教育委員の福田征起氏

### 教育委員会委員に 福田征起氏を再任

教育委員のうち1人の任  
期が9月末をもって任期満  
了となった。  
福田征起氏の任命に同意  
しました。

**問** 寺本信介議員  
千代塚のり面復旧  
工事の内容と、孝  
女千代をもっと活用して  
はどうか。

**答** 千代塚の石垣が崩  
壊しているため、  
その復旧工事である。  
活用については、熊本  
県の教育の補助資料で  
「熊本の心」という本が  
あり、その中に孝女千代  
の話が記載されていて、  
現在県内の小・中学校は  
勉強をしている。今後、  
道徳が教科になるので、

### 後期高齢者医療特別会計 補正予算(第2号)

**問** 橋口知恵子議員  
歯科検診を受ける  
人が多くなる可能  
性があるということであ  
るが、現在、また昨年の  
件数はどのくらいだった  
のか。

**答** 当初予算では、17人  
分を計上していた。  
昨年度は132人が受診を  
されている。  
今回、150人を予定し、  
56万5千円を追加計上した。

## 平成29年度9月補正予算の主な事業

事業名	予算額	事業内容
産業廃棄物運搬・処分委託料	3,312千円	倉谷工業団地内の産業廃棄物を複数年かけて処理するもので、本年度に必要な運搬・処分の委託料
美術振興基金積立金	2,000千円	指定寄附金の納入により美術振興基金へ積立
出生祝い金	3,000千円	町の次世代を担う子ども達の誕生を祝うとともに、子育て世代の定住促進を目的に、出生祝い金を支給
ウッドスタート誕生祝い品 玩具製作等委託料	430千円	木のおもちゃの製作等を東京おもちゃ美術館へ委託するための委託料
津奈木町水道施設整備費補助金	1,015千円	古中尾地区簡易水道組合への施設整備費補助金
物産館仮設店舗設置工事等	3,529千円	物産館の改修工事に伴い、工期中の営業を補償するため、プレハブの仮設店舗リース料及び設置工事費を追加
水俣芦北広域行政事務組合消防費負担金	5,438千円	芦北消防署の新築工事に伴い、設計委託に係る消防費負担金を追加
新川砂防函渠配水管架設工事	9,272千円	新川砂防事業に伴い、町道に布設してある配水管の移設依頼があり、配水管架設工事を追加

**認定**

# 平成28年度 一般会計 特別会計決算 歳出総額 52億 1,414万円

会計区分		歳入	歳出	差引額
一般会計		33億 2,245万円	31億 5,340万円	1億 6,905万円
特別会計	国民健康保険	12億 8,411万円	10億 7,796万円	2億 615万円
	後期高齢者医療	7,506万円	7,430万円	76万円
	簡易水道事業	2億 1,372万円	1億 9,968万円	1,404万円
	介護保険事業	7億 6,344万円	6億 8,465万円	7,879万円
	恒久対策事業	1,292万円	1,234万円	58万円
宅地对策事業	2,354万円	1,181万円	1,173万円	

## 各常任委員会の審議状況

本会議において、平成28年度決算などが各常任委員会に付託され、審議された結果について、各常任委員長から報告があり、9月27日の本会議において認定・採択されました。

### 総務振興常任委員会

**委員会付託事案**  
○平成28年度津奈木町一般会計決算（総務振興常任委員会所管分）  
○平成28年度津奈木町簡易水道事業特別会計決算  
○平成28年度津奈木町恒久対策事業特別会計決算  
○平成28年度津奈木町宅地对策事業特別会計決算  
○「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書  
○「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情

### 質疑応答

**問** 町債で多額の臨時財政対策債が計上されているが、交付税にどの程度算入されているのか。

**答** 臨時財政対策債交付税算入については、普通交付税の公債費で元利償還金の100パーセントが算入されている。

**問** 光BOXの普及率はどれくらいか、また、目標はどれくらいなのか。

**答** 平成29年3月末で214件である。

### 教育住民常任委員会

**委員会付託事案**  
○平成28年度津奈木町一般会計決算（教育住民常任委員会所管分）  
○平成28年度津奈木町国民健康保険事業特別会計決算  
○平成28年度津奈木町後期高齢者医療事業特別会計決算  
○平成28年度津奈木町介護保険事業特別会計決算

### 質疑応答

**問** し尿処理負担金について、収集されし尿などは、どのように処理されるのか。

**答** また、町の負担と各家庭の負担があるのか。水俣芦北広域行政事務組合が（株）オール・ビー・エスへ1市2町分の処理を委託し、収集された汚泥、し尿は有機質肥料化され、



教育住民常任委員会の現地説明

**問** 幼稚園は、園児数がだんだん減少する中、今後の政策はどのように考えているのか。

**答** 町の今後の運営方針が課題となる。今後の就学前教育の在り方について、保育園を管轄する住民課とも協議していきたい。

全世帯の2割程度まで普及率を上げたい。また、ふれあい祭りで光BOXの体験コーナー設置を企画している。つなぎタクシーもあわせてPRを行い利用促進につなげたい。

**問** モノレール運転及び展示会監視委託料についての婦人会の収支報告書はどうなっているのか。

**答** 美術館の受付業務、モノレールの運転及び展示会監視委託料の契約、喫茶室の無償貸付の契約について、役場としては、モノレールの監視に1人、展示会監視に1人、計2人分を支払っている。しかし、2人では休憩やトイレができないため、実際は3人の交代体制で行っているようである。喫茶部については人件費を入れると毎年120万円程度の赤字のようであるが、役場からの委託業務に当たって

**問** 要支援1・2の対象者の支援方法が変わったが、どのように対応しているのか。

**答** 介護保険事業としての要支援1・2の方は訪問介護、デイサービスなどが受けられなくなったが、町が行う介護予防・日常生活支援総合事業で、訪問型サービス・通所型サービスとして従来通りのサービスが受けられるようにしている。

旧平国小の他、6箇所の現場視察を行った。旧平国小のグラウンドについては、草刈はされていたものの広場となり、施設周囲は雑草が生い茂っていた。避難所も兼ねているため整備が必要である。ゴミ処理場の施設内道路等は、砂利道で雨の影響を受けるので、早急に舗装する必要があるという意見が



総務振興常任委員会の審議状況

**問** 水俣市に多額の水道使用料を支払っているが、小津奈木地区の水源確保はどうなっているのか。

**答** 小津奈木地区の管理棟の敷地内に、ボーリング調査を9月中に入札予定である。

**問** 臨時職員4人を雇用して道路パトロールと維持管理を行っているが、町内の建設業者に路線毎に管理委託することは考えていないのか。

**答** 臨時職員2人を4人体制にした時に、業者委託との経費を比較したところ同額程度であったので臨機応変に素早く対応できる臨時職員を増員した。

**問** 警報発令時の職員の配備計画はどのようになっているのか。

**答** 当直者2人から、総務課1人、振興課1人の警報当番者に連絡を行い、登庁します。警報が継続し降水量が増える場合



# 学校給食費の無料化に 取り組むべきでは

橋口知恵子 議員

**答** 町長に就任して2カ月間足らずだが、公約で人口減に歯止めをかけるため、赤ちゃん出生祝い

**問** 全国で学校給食費を無償にする自治体は57、一部の補償は362に上がっている。給食費の無料化は、少子化・過疎化・子供の貧困問題を背景に、子育て世代の負担軽減、若い世代の定住や新住民を呼び込むための効果を期待して実施している自治体が増えている。本町でも子供の減少により地域が廃れると危機感がうかがえる。町ぐるみで子供を育てていこうという考えが必要であり、給食費の無料化をとり組むべきではないか。

**答** 総経費は、西野氏への謝礼100万円、建築工事1412万円、家具類の製作謝礼19万円の1531万円と運営

**問** ホテル裸島の総経費はいくらか。宿泊希望は何件か。期間が終了すればどうされるのか。このプロジェクトを生かしていく施策はあるのか。

**答** つなぎタクシーは運行開始から2年。1年前の町民アンケート結果から改善を行ったが、効果はあったのか。要望に土日祭日、12月31日から1月3日の運行など出ているが、今後の見直しは考えているのか。

**問** つなぎタクシーは運行開始から2年。1年前の町民アンケート結果から改善を行ったが、効果はあったのか。要望に土日祭日、12月31日から1月3日の運行など出ているが、今後の見直しは考えているのか。

**答** 昨年のアンケート結果を踏まえて、ダイヤの改正、新規乗降場所の設置、予約時間の変更、お試し乗車券の発行、回数券の発行、広報パンフレットの配布などの改善を行った。効果は、利用者数1日当たり19.6人、約52%、年間約4千人を超え、30%増の効果の見込である。

**問** 昨年のアンケート結果を踏まえて、ダイヤの改正、新規乗降場所の設置、予約時間の変更、お試し乗車券の発行、回数券の発行、広報パンフレットの配布などの改善を行った。効果は、利用者数1日当たり19.6人、約52%、年間約4千人を超え、30%増の効果の見込である。

# 議会が新体制になりました

本定例会の最終日（9月27日）、議長の辞職に伴い正・副議長選挙が実施され、川野雄一副議長が議長に、柳迫好則議員が副議長に就任しました。

そのほか、議会運営委員会委員1人の交代、議会運営委員会および総務振興常任委員会の委員長が交代、また水俣芦北広域行政事務組合議会議員の補欠選挙を行いました。



議長 川野 雄一

9月27日の平成29年第3回定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長の要職を担うことになりました。責任の重大さを痛感しますと共に、身の引きしまる思いであります。これも今日迄、ご支援頂いた有志者各位の多大なご厚志と、投票頂いた議員の皆様のご協力あつての事と心から感謝申し上げます。ご推挙を受けましたうえは、議会の果たすべき役割を十分認識して町民の皆様からの負託に応えるべく建

設的な議論の場の議会として、公正かつ円満に運営されますように、誠心誠意努めて参りますのでよろしくお願ひします。本町の現状は、少子高齢化により、人口減少が続いており人口減少に歯止めをかけ、雇用を確保することが喫緊の課題であります。対策として、一次産業の振興、子育て支援、高齢者対策、防災・減災による安全、安心な町づくりなどへの取り組みが求められております。そこで、平成27年度に策定した「津奈木町人口ビジョン」を踏まえ「津奈木町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて、全町が一丸となって総合的な施策を積極的に推進し「個性豊かな活力ある津奈木町」を実現する為に、議会としても執行部とは是々



副議長 柳迫 好則

この度、議員の皆様方のご推挙によりまして副議長に就任しました。このような機会を与えていただきましたことは、誠に光栄であり身の引き締まる思いであ

ります。さて、本町においては少子高齢化、特に若年人口の減少が加速化していることから少子化対策は喫緊の課題であり、また近年の異常気象における自然災害は、凶暴化・複雑化している現状から、さらに防災対策の強化が求められています。これらのさまざまな行政課題に積極的に対応していくため、議会も十分にその役割を発揮しなければなりません。今後は、川野議長のもと議会が公正にしかも円滑に運営されるように及ばずながら誠心誠意努めてまいり所存でございます。今後とも町民にとって身近で開かれた議会の実現に努め、安心して豊かに暮らせる町づくりを目指して全力を注いでまいりますので、皆様方のご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

## 就任のあいさつ



寺本 信介 議員

## 生涯学習の振興として 施設使用料を低くできないか

住みたくなる町づくりにむけて

**問** 町民講座は期間を過ぎると、自主講座として活動することになるが、町民講座が自主講座に移行することで文化センター使用料など負担が大きくなるため、町民が気軽に余暇を楽しめるよう料金を下げることができないか伺う。

**答** 現在、5つの町民講座と14の自主講座が行われているが、町として文化センターだけでなく、町の体育施設条例により、さまざまな運動クラブも個人も体育施設の使用料金を払っている。この運動クラブなども自主講座と同等の意義を持っており、同好の士が互いを高め、楽しみ合うために幾分か負担をすることは必要だと思う。現時点では施設設備の維持の

ための経費は税金で負担しているため料金を下げることとは考えていない。

**農林水産業の振興・特産品づくりは**

**問** 農林水産業の振興、特産品づくりについて伺うが、新たな開発は多量の水稲の自然農法、またカキの養殖などの現状はどのようになっているのか。また、今後町の農業振興をどう考えているのか。

**答** 1次産業は本町産業のなかめであると考えており、町独自としてはスイートスプリングの特産化を目指し、カキの養殖では漁協で4名取り組んでいる。農業情勢はとも厳しいものがあるが、県、JANAなどの関係機関、生産団体と協力し、稼げる農業を目指したいと思っている。



上村 勝法 議員

## 地区編成の見直しは 考えていないのか

人口減少に伴う  
各地区の編成は

**問** 現在、津奈木町には辻地区を入れて22地区あるが、そのうち65歳以上の方が50%以上占める地区が3ヶ所あり、40%以上の地区も含めると12地区にのぼる。今後、年齢的、人数的に無理が生じてくる懸念があるが、協同作業、活動など社会的協同生活を維持していくためには近い将来地区の編成を組直し統合する考えはないのか伺う。

**答** 行政区の成り立ちとは、歴史的な背景や地縁、血縁などの地域事情も多々あるが、行政区の統合自体を町が強制的に行うことは考えていない。しかし、自治区が自主的に進めたい、また、地域コミュニティ活動が困

難な小さな地区が統合について考えたいならば、町としても円滑に諸問題の調整を行い協力していきたいと考えている。

**問** 世帯数も少なく平均年齢が高い地区は、体育大会の選手参加者を募るのに苦慮されていると思うが、統合する考えはないのか伺う。

**答** 陸上競技大会では、地区によって以前から人がいない、また少ないので参加できない種目がある。改善してほしいなど要望があっていた。今回、体育部長にアンケートをとり、その結果をもとに教育委員会事務局で検討を重ね、種目等の改善策を作成し、体育協会理事会上で諮り了解を得て、8月の体育部長会議で改善案を示し、公平で適正な配点基準になったと評価を得たところだ。



久村 昌司 議員

## 公約の高校までの医療費無料化と保育料軽減の構想は

**医療費の無料化と、保育料軽減は**

**問** 高校まで医療費を無料化した場合、対象者数と町の負担額はどの程度になるのか。また、保育料の負担軽減を芦北町と同額か、または安くなるように考えていると、答弁があったがいつから実施するのか。

**答** 平成30年度の対象者はおおむね1200人で、320万円余りの負担になると思われる。保育料については年収制限を撤廃した場合、町の負担が約900万円必要になるため、財政状況と国・県の動向を見ながら検討し、選挙の公約でもあったので高校までの医療費の無料化と、保育料の軽減は平成30年度から実施しようと考えている。

**農林水産業の振興は**

**問** 今後近隣市町村を参考に細やかなケアを行っていくと表明されたが、どのように取り組んでいくのか。

**答** 本町の生産者の多くの補助対象に合致しないことがあるため、国・県の制度にはない細かい要望を実現し、農業振興を図る必要がある。今後は生産者の要望を受け入れながら、町独自の補助制度を考えてきたい。

**機構改革のねらいは**

**問** 役場の機構改革が必要であると表明されたが、どのような改革を考えているのか。

**答** 平成30年度4月1日より、新機構のスタートを考えている。現在、機構改革の作業部会と、幹事会により調整を行っていて、11月下旬には町長に答申をしたいと考えている。遅くとも、3月定例会には関係議案を上程する予定である。

**問** 2つの課が増えるスムーズな職場になることを願っているが、今後の編成スケジュールなどを考えているなら伺いたい。

**答** 現在は企画立案する専門組織と、すぐに実行に移せるフットワークの軽い所管がない。また、業務量と業務内容の偏りが見受けられる。今後は企画立案や地域づくりを担う課、住民福祉を担う課を新設し、効率が良い組織体制にしたい。



# 物産館グリーンゲイト リニューアル後の構想は

澤井 静代 議員

グリーンゲイトの  
リニューアル工事は

**問** これからグリーンゲイトのリニューアル工事に着手をされるが、改めて工事内容と工事費の説明を求める。

**答** 1つ目が、トイレの改修工事である。現在の男子トイレと女子トイレの部分で男子トイレに改修をし、冷凍冷蔵庫室および倉庫部分を女子トイレに改修する。数は変わらないが、2倍程度の広さになり、新たにベビシートや姿身の鏡を設置する。2つ目が、グリーンゲイトの建物裏側で、かんきつ類の箱詰め作業を行う倉庫を整備する。3つ目が、店舗の改修工事で、店頭での販売や産地直送便で送るための箱詰め作業室や果物、冷

蔵品、冷凍品を保存するための冷蔵庫、冷凍庫を置くようにする。また、日差しの熱を防ぐために、ガラスの一部を二重ガラスに取りかえ、商品の陳列台の製作、配置がえを行う。店舗北側には、憩いのスペースとして新たに屋外テラスを整備する。

4つ目は、グリーンゲイト広場に常設の屋根かけテントを設置する。今回の改修工事に伴い、仮店舗での営業を行うためのプレハブを設置。総予算額は9011万9千円であるが、工事費については、現在実施設計業務の中で積算を行っており、9月末に確定する。

**問** 設計者の同意に時間を要し、工期が11月から3月までになったとの説明であったが、グリーンゲイトにおいては最も忙しい時期であり、この期間での工事は望んでいなかったのではないか。

**答** 協議をする中で、店舗内のレイアウトが決まらなかったことや、建物裏の倉庫の位置を決める際に、当初設計者の北山さんとの協議に時間を要した。グリーンゲイト側も売り上げが増える12月までには完成して、営業したいと思っていた。



リニューアルされるグリーンゲイト

**問** 南九州自動車の水保インターの供用開始を平成31年3月末に控え、グリーンゲイトがより充実するために、リニューアル工事後の新たな構想があるのか伺いたい。

**答** 今回は販売戦略の専門家にも参加していただいている。そのため、グリーンゲイトには特産品の開発・販売や観光の拠点としても成果が発揮できるように期待をしている。

また、広場でのイベント実施や、津奈木の魅力を情報発信してもらうため、くまもとフリーWi-Fiなどの公衆無料のWi-Fi設置を考えている。加えて、グリーンゲイトを起点とした散策などの方法も進めたい。

その他「つなぎFARMの取り組み」についての質問があった。

## 阿南町とは



役場前で副町長・教育長と

本州の中央に位置し、南アルプスと中央アルプスに挟まれて、面積は本町の約4倍、人口や予算は同規模なのに、子育て支援が充実していることや、ふるさと納税への取り組みが拡充されていることで訪ねました。子育て支援事業では、出生祝い金は勿論ですが、保育料が本町に比べ、約半額です。理由は、この地域の近隣市町村の取り組みで、町長の公約によって実施されているようでした。他にも、チャイルドシート購入補助や、学校給食費

2分の1補助が実施されていました。

## 農業支援に特化したふるさと納税

平成20年、「この先、年金が減ればもっと生活が苦しくなる。今やらないと大変なことになる。」町は、「年々プラス収入50万円」構想を打ち出します。

この実現には、販売先を提供してあげる。農家には農産物の生産に専念してもらい環境をつくり、売り先は組織（町）で探す。町の活性化は行政の施策だけでは限界があるため、行政と町民・民間を結ぶ、その取り組みに特化した中間的な支援組織をつくろうと、平成21年4月、「一般社団法人信州あなんトータルマーケティング（通称・・・信州アトム）」が設立されました。阿南町は、平成20年4月から実施している従来（一

般）のふるさと納税と、平成25年5月から実施されている農業支援に特化したふるさと納税の2種類です。

実績は、一般分が平成20年～平成28年度までで、約3840万円に対し、農業支援分は、平成28年度だけで約2億3千万、約8400俵の米が返礼品として送られていました。

ふるさと納税は、「ふるさとあなん寄附金基金」に積み立て、一般分は老人福祉や小・中学校の備品購入費などに、農業分は農業支援のために活用されている。

同じような法人形態の津奈木町地域振興公社を持つ本町においては、活性化へのヒントをいただいた研修でした。

## 伊那市とは

伊那市は、森林が伝統と文化を育み、暮らしを支えてきたとの理念から、「伊那市ソーシャル・フォレス



トンボ工房の木工品制作視察

伊那市ウッドスタート事業「木工品の贈り物」も、赤ちゃんや保護者に、木のぬくもりを感じてもらいたい親しんでもらう、植物や自然環境への意識を遊びや暮らしの中で育みたいという「木育」の取り組みのひとつです。地元産の木を使い、地元産の3団体で、11種類が製作されています。

本町では、東京おもちゃ美術館を通して取り組み中ですが、今だ奮闘中のようにです。

## 教育住民常任委員会 “長野県” 行政視察レポート

### 『子育て支援とふるさと納税』 阿南町

伊那市のウッドスタート事業の取り組み 10月30日～11月1日